

野沢明夫の議員報告

●事務所：〒391-0301 茅野市北山北大塩道 6891 TEL0266-77-2058
Email: akky 4241@ po30. lcv. ne. jp

<御礼と決意>

4年間、この「野沢明夫の議員報告」は、定例会ごとに16回を数えました。およそ1500部作り、250部を郵送、1250部は、湖東全域と芹が沢をオートバイで配り歩きました。

一回の走行距離は125キロ、総計2000キロを踏破したことになります。初めは家の方に声をかけることもできませんでしたが、回を重ねると、皆さんから気軽に声をかけていただき、ご助言や要望など聞くことも出来るようになりました。

年4回の報告は、定例会の一般質問を中心に発行いたしました。諸行事に追われ時間的余裕もなく、内容的に不足している部分もありますが、自身の考え方や判断を少しでもお伝えできたのではと思っております。

全国的な議会への批判の多くは、「何をしているか分からない」「仕事をしていない」「給与が高い」「人数が多い」などです。議会が活動を報告していない事や、市民の声を聞く機会を設けていないことがその原因です。議員が市民に知らせようという姿勢が欠けているのです。一旦議員になってしまうと、議員の権利である一般質問もせず、本議会や委員会での審議以外は目立った活動をすることも無く過ごすことも可能なのが現状です。

議員の責務として、「市民の意思の把握」や「調査研究」など、本議会や委員会での審議以外の活動を規定する地方自治法の「改正試案」が全国県議会議長会から出されています。

市議会でそれをやろうとすると、「議会基本条例」に「議員の責務」を規定する必要があります。なおそれは議会自身が提案し決議しなければなりません。議員が自身を律し、鍛え直す覚悟を持たない限り、市民からの信頼は得られないと、私は確信します。

大切なことは、議員活動と市民の距離を近づけることです。その意味で、議会による「市民ミーティング」のような取り組みは欠かせないと思っております。政務調査や視察で見聞きしたことを、茅野市に当てはめて政策提案し、市民に説明することが求められます。

必ずその過程で、議員の資質は高められ、市民の評価を受けることになります。

私は、二期目に向け立候補表明いたしました。議員がやるべきことをやらなくてはならない組織と制度を作っていくことを訴えて参ります。そして市民の奉仕者としての使命と覚悟をもって活動して参ります。皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

「議会改革と地域づくり 制度と組織 変革への挑戦」へ頑張ります。

※「野沢明夫の議員報告」全 16 部をご希望の方は、住所、氏名を下記まで連絡下さい。

Eメール：akky4241@po30.lcy.ne.jp.....こちらから郵送いたします。



3月議会の一般質問は次のような内容でした。

- ① 学校における人間関係を形成する力を養う教育活動の取り組みについて
- ② 地区コミュニティセンターの市職員体制について

①学校における「人間関係を形成する力を養う教育活動」の取り組みについて

私は、教育委員会や学校長、養護の先生方のご理解を頂くなかで、奉仕活動として昨年1月から通算 20 数回、学校へ薬物乱用防止教室の講師として要請を受けて活動しております。仕事を持つ社会人として、また近所のおじさんとして子供たちにアルコールやタバコ、シンナー、薬物の害を伝え、ゼットイ手を出さないための啓発活動をしています。その授業の45分間という短い時間の中でも、生徒の手応えを感じる事が何回もあります。それは講師を務めた誰もが感じる共通した思いです。

手応えを感じたクラスに共通して言えることは、基本的な「対人マナー」というか「人との関わり方」に関する能力が高いのではないかと感じる事です。

それは基本的な対人マナーとして、たとえば「人の話の聞き方」について言えば、相手の方を向くとか、話を最後まで聞くとか、相手のはなしを聞いてうなずくとか意見がすぐ返って来るなどのソーシャル（社会）スキル（技術）、ライフスキルの有る無しが関係しているのだと感じるわけです。

そんな意味で市内では「学校における人間関係を形成する力を養う教育活動の取り組み」の状況はどうなっているのかについて聞きました。

●Q-Uテストについて：このテストは、こどもの学級満足度調査で、最近各地で取り上げられているテスト（アンケート）です。

このテストの内容については、表上に

縦軸：「自分の存在や行動がクラスの仲間や教師から承認されている」という度合いを示し、

横軸：被被害（被害をこうむっている）感「クラスへの不適応感やいじめ冷やかしなどを受けていると感じている度合いを示して、

生徒の縦軸得点と横軸得点から縦横の座標の上を示します。表を十字に4分割して分かれた範囲に生徒がグループ分けされることになります。

グループは4つに分かれます。

- ①学級生活満足群：学級に自分の居場所があり、学級生活を意欲的に送っている生徒群
- ②非承認群：いじめは受けていないが学級内で認められることが少ない生徒群
- ③侵害行為認知群：他の生徒と何らかのトラブルがある可能性が高い生徒群
- ④学級生活不満足：いじめ悪ふざけを受けているか、非常に不安傾向が強い生徒群

●Q-Uテストで分かること

こども個人と学級集団の情報から次のデータが得られます。

- 不登校になる可能性の高いこどもはいないか。
- いじめ被害を受けている可能性の高い子はいないか。
- 各領域で意欲が低下している子供はいないか。
- 学級崩壊に至る可能性は無いか。
- 学級集団の雰囲気はどうか。

■茅野市内でのQ-Uテスト実施状況は、今年度実施が小学校で5校、中学校で3校、来年度実施する小学校1校と中学校1校を加えると、23年度は10校が実施を計画しているとのこと。実施の前には各学校でそれについての研修会を専門家をお願いして行っているとのこと。すでに対応しておりました。

●SGE「構造的グループエンカウンター」やSIG「対人関係ゲーム」ほか、民間で開発されたライフスキル教育プログラムについて

○SGE：「意図的にあるグループ活動を行わせここで感じたことなどを率直に話し合うことにより人間関係を形成するために大切なことを理解させる手法」

○SIG：「対人関係ゲーム」と呼ばれ「学級集団の人間関係作りのためのカウンセリング技法」「集団でコミュニケーションせざるを得ないような架空の場をあえて設定し、様々な人間関係を経験する遊び」

■市は「構造的グループエンカウンター」や「対人関係ゲーム」はすでに市内13校の全ての小中学校で取り入れているとのことでした。

＜私はこう考える＞

教師同士の統一した判定基準をこれらのテストによって共有した上で、学級経営に生かしてもらいたいと望みます。テレビで、ヤンキー先生義家さんは席替えを民主的に行うのは反対だと言っていました。席替えこそ学級経営上大切な先生のツールで、その基本は生徒一人ひとりを知ることから始まると言っていました。そのためにこれら取り組みが生かされればと思います。

② 地区コミュニティーセンターの市職員体制について

広報ちの掲載「12-15号」「米沢・豊平地区コミュニティーセンター所長を募集します」の記事を見て疑問を訴えた方がおまして気づいた問題です。

その記事によると二つのコミュニティーセンターの所長を民間から募集し、臨時職員待遇するというものです。そこに私は、パートナーシップの第二ステージにかける市長の思いとこの人事に違和感を覚えました。

●現在までの職員体制は、所長に部課長OB（8地区）や現職の課長（2地区）が当たり、補佐に正規の係長級職員が当たっています。現実に記事の2地区には募集があったものの辞退もあり、うまくいかなかったことから、市は方向転換し、私の一般質問に対し次のような方針を打ち出しました。

■今後の職員配置は、来年から3年かけて正規職員2人とし、地域の状況に応じて臨時職員の増員も考えるとのこと。係長クラスの人材を置き、所長を経験させることが、課長になる必須条件にするとの見解を明らかにしました。臨時職員は週に二～三日の勤務という事も考えられるとのことでした。

<私の不安>

●市長は宮川後援会役員会で「地区コミュニティーセンターの職員体制の強化」を発表いたしました。それは市長選を見越した発言であり、結果的には、私の一般質問への答弁に繋がる発言ではありますが、問題はそれ以前に発表され、実施された「募集したという事実」です。つまり結果的に応募者があっても、集まらず方針転換しましたが、根本的に、地域の要の所長という要職を「民間」で、なおかつ「臨時職員」というきわめて不確かな待遇で担わせようという、その姿勢そのものに理念が欠如していると言わざるを得ません。

<私はこう考える>

私の理想的組織像は、地域に関わる全ての職員を民営化するのが目標で、再度当選の暁には、練りに練って提案したいと考えています。それまでの間、今回の若い人の配置も良いでしょう。市は地域におけるコミュニティー機能を精査し、出張所機能、地区公民館、こども館、図書館、各団体の事務局、福祉推進の拠点、保険介護の情報収集基地などの機能を包括した組織づくりを視野に入れた検討を始めるべきと考えます。

③ 公募型補助金制度について

この制度は市民が提案し、広く市民が参加する公益的事業に対して補助する制度で、3年経過しています。そして市長マニフェストの市民税の1%を使った市民発案事業を支援するアイデアを実現した事業です。補助金の内容は経費の1/2以内で、上限50万円、3年まで継続できます。

これまでの利用状況は、平成20年は6件205万円、21年は8件234万円、22年は5件186万円、本年23年の申し込みは4件のうち1件は継続、新規は3件にすぎません。一方、同様な補助金制度の「県の元気づくり支援金」は限度はなく、ハードは2/3、ソフト事業は10/10全額対象となります。総額の枠はあるものの、多くの事業がそちらへ流れていて、市の制度が使い勝手が悪いとの指摘があります。

市では見直し検討の用意があるとのことですが、その内容はこういったものになるのかは分かりません。

<問題点> 私が問題だと思うのは、他議員のマニフェストの達成を問う一般質問の答弁で、市長は「市民活動支援1%システム市民発案事業＝公募型補助金制度」は達成された分類に入るとの判断を示した点です。市長の思いが実現された点は評価しますが、問題はその内容です。市民税総額は3億円でその1%は3000万円、3年継続事業と考えると、1年目標は1000万円です。庁内業務を企業にたとえると、1000万円売上に対し、達成された金額は大きく下回っています。市長のチェック機能と部課長のマネジメント力が足りないのではないかと感じます。

<私はこう考える>

思う結果が出ない時に、その理由を考える、そして「改善策」を考え対応する。それこそが民間企業が常日頃やっていることです。

3年も経過して、個々の補助金申請者からの指摘が繰り返され、信毎の記事による指摘や、この指摘がなければ市は見直ししないのでしょうか？ あまりに悠長な対応としか思えません。

目玉事業といえる事業くらいは市長自ら監理しなさい！市長には正しいと思うことをやるのは当たり前。具体的な方向性を示しどんどんおやりなさい。そして自ら確認しなくてはだめです。

12月議会後から現在まで

(議員活動、公職、その他の役職の活動を含む)

29日	木村忠一様葬儀式	16日	広域行政研修会紅や
31日	前宮梶の葉会年越しイベント		福祉推進委員研修会
1月1日	湖東新井区胡桃沢神社拝賀式 ライオンズクラブ太鼓初打ち	17日	県元気づくり支援金ヒアリング
4日	新年名詞交換会	18日	薬物乱用防止教室玉川小6年 湖東消防考える会役員会
5日	侑野沢塗装店新年会	21日	議会運営委員会
6日	市初区長会 湖東区長会	22日	地域福祉審議会
9日	市消防出初式 市成人式 湖東新井区初区総会	23日	定例3月議会開会
11日	薬物乱用防止教室北山小打合	24日	薬物乱用防止教室北山小6年 一般質問締切日
13日	ライオンズクラブ理事会	25日	河西建設千親会総会
15日	矢島真澄様ご葬儀 出合いの広場の会理事会	28日	議員有志議案勉強会
17日	清水裕美様ご葬儀 茅野市ワトニ協会理事会	3月1日	薬物乱用防止教室金沢小打合
18日	原村婚活支援事業講演会	2日	伊藤久子様葬儀
19日	議会運営委員会	3日	議案質疑・全員協議会
20日	茅野市どっとネット説明会	4日	三財産区合同懇親会
21日	臨時議会、全員協議会 4ライオンズクラブ合同新年会	5日	薬物乱用防止教室金沢小 湖東消防を考える会
25日	野沢明夫56歳誕生日 H19選出諏訪新人議員懇談会	6日	精密工業会50周年記念イベ
26日	湖東消防を考える会 H17・18消防モリモリ会欠	7日	ワトニ協会総会
27日	豊平保育園竣工式 薬物乱用防止教室北山小5年	8日	一般質問①
2月2日	紙上出馬表明	9日	一般質問②
4日	県・元気づくり支援金申請 LIONS薬乱防講演会下諏訪	10日	一般質問③議運、予算委員会
6日	出合いの広場パブリックパーティー	11日	予算委員会
7日	諏訪3市議会議員研修会 薬乱防教室北山小打合せ	12日	地域づくりネットワーク講演会
8日	湖東消防を考える会打合せ	13日	新井区公民館清掃 湖東地区社協配食弁当
9日	薬乱防教室玉川小打合せ どっとネットHPづくり 須栗平区議会新年会	15日	社会環境委員会
10日	3月議会告示 商工会議所新春会員の集い	16日	北部中学校卒業式 福祉推進委員会
13日	野沢氏子会初午会	17日	湖東小学校卒業式
14日	ワトニ協会理事会	18日	3月定例議会閉会
15日	議会全員協議会	20日	LC運動公園清掃奉仕作業 泉龍太鼓20周年記念演奏会
		23日	白樺湖下水道組合議会
		25日	笹原・湖東保育園卒園式
		27日	出合いのｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾊﾟｰﾃｰ
		29日	諏訪南行政事務組合議会
		4月1日	笹原・湖東保育園入園式